

第 8 回川越市総合計画審議会次第

日 時：平成 17 年 7 月 7 日（木）

午後 2 時から

場 所：川越市庁舎 7 階 7 A B 会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 新委員紹介

4 報告

5 議事

(1) 第三次川越市総合計画原案（基本構想）について

～これまでの審議の論点整理～

(2) 第三次川越市総合計画原案（前期基本計画）について

第 1 章 ともに助け合い、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち - 保健・医療・福祉 -

第 2 章 学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち - 教育・文化・スポーツ -

(3) その他

6 副会長あいさつ

7 閉 会

様式

会 議 録

会 議 の 名 称	第 8 回 川 越 市 総 合 計 画 審 議 会
開 催 日 時	平 成 1 7 年 7 月 7 日 (木) 午 後 2 時 0 0 分 開 会 ・ 午 後 4 時 1 0 分 閉 会
開 催 場 所	川 越 市 庁 舎 7 階 7 A B 会 議 室
議 長 (委 員 長 ・ 会 長) 氏 名	大 橋 豊 彦 委 員
出 席 者 (委 員) 氏 名 (人 数)	審 議 会 委 員 : 別 紙 の 委 員 名 簿 の と お り (2 1 名) 市 職 員 : 別 紙 の 職 員 名 簿 の と お り (4 2 名)
欠 席 者 (委 員) 氏 名 (人 数)	太 田 英 一 郎 委 員、小 澤 稔 夫 委 員、小 瀬 博 之 委 員、鈴 木 守 人 委 員、 松 岡 秀 仁 委 員、上 田 成 子 委 員、馬 場 弘 委 員、藤 井 み ど り 委 員、松 本 弥 生 委 員 (9 名)
事 務 局 職 員 職 氏 名	川 越 市 市 長 室 政 策 企 画 課 課 長 西 川 利 雄 主 幹 矢 部 竹 雄 主 幹 渋谷 不二雄 主 任 箕 輪 信 一 郎 副 主 任 今 野 秀 則 副 主 任 橋 本 充 史
会 議 次 第	1 開 会 2 会 長 あ い さ つ 3 新 委 員 紹 介 4 報 告 5 議 事 (1)第 三 次 川 越 市 総 合 計 画 原 案 (基 本 構 想) に つ い て (2)第 三 次 川 越 市 総 合 計 画 原 案 (基 本 計 画) に つ い て (3)そ の 他 6 副 会 長 あ い さ つ 7 閉 会
配 布 資 料	・ 次 第 ・ 委 員 名 簿 ・ 第 7 回 川 越 市 総 合 計 画 審 議 会 会 議 録 ・ 基 本 計 画 に 対 す る 質 問 (資 料 1) ・ 基 本 計 画 に 対 す る 質 問 (資 料 2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>開 会 午後 2 時 0 0 分</p> <p>1 開 会 (司 会 : 市 長 室 長)</p> <p>2 会 長 あ い さ つ</p> <p>3 新 委 員 の 紹 介 新 た に 委 員 と な っ た 堀 満 委 員 と 佐 藤 恵 士 委 員 を 紹 介 し た 。 傍 聴 希 望 者 (7 名) に つ い て 協 議 し 、 出 席 委 員 の 了 解 を 得 る 。</p>
事務局	<p>4 報 告 今 回 の 会 議 資 料 の 確 認 と 第 7 回 川 越 市 総 合 計 画 審 議 会 の 会 議 に つ い て 概 要 説 明 を 行 う 。</p>
事務局	<p>5 議 事 (1) 第 三 次 川 越 市 総 合 計 画 原 案 (基 本 構 想) に つ い て 基 本 構 想 の 主 な 論 点 を 整 理 し た 「 川 越 市 総 合 計 画 審 議 会 に お け る 委 員 の 意 見 集 」 に 基 づ き 、 基 本 構 想 の 項 目 ご と に 主 要 な 意 見 を 説 明 。 【 主 な 意 見 】 特 に な し 。</p>

	<p>(2)第三次川越市総合計画原案（基本計画）について</p> <p>「第1章 保健・医療・福祉」の概要について第二次川越市総合計画との相違点等を中心に説明。あわせて、事前に提出された基本計画に対する質問の回答も説明。</p> <p>【所管部：保健福祉部、市民部、生涯学習部】</p>
<p>委員 市</p>	<p>【主な意見】</p> <div data-bbox="432 683 1402 857" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>説明にあった「難病ネットワーク会議」が仮に第三次川越市総合計画の目玉となるのであれば、計画上に明示したらどうか。</p> </div> <p>・「難病ネットワーク会議」は難病患者の支援ネットワークであり、本市が平成15年度に中核市へ移行した際、埼玉県から事務を引き継いだものである。難病は多くの種類があるが、そのうちの神経難病について実施している。</p>
<p>委員 市</p>	<div data-bbox="432 1155 1402 1216" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「難病ネットワーク会議」という組織があるのか。</p> </div> <p>・「難病ネットワーク会議」は、市内の在宅支援センター、在宅介護支援事業者、サービス業者などに集まっていただき、対象となっている難病に対してのサービスのあり方を話し合う会議である。</p>
<p>委員 市</p>	<div data-bbox="432 1507 1402 1630" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>（難病に関する）ネットワークを強化しようとするのが新しい政策に当たると考えてよいのか。</p> </div> <p>・（難病に関するネットワークは）県内の他の市町村では埼玉県が中心になって行っているが、平成15年度から本市が中核市に移行したことを受けて埼玉県から移管された事務であるため、（第二次川越市総合計画と比較して）新しい事業としているものである。</p>

<p>委員 市</p>	<div data-bbox="430 212 1401 331" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>新しい政策、新しい目玉というのであれば、なぜ第三次川越市総合計画に打ち出しをしないのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・（原案72ページの施策「保健・医療・福祉の連携」での細施策の）「地域関係団体（者）との連携は、難病だけではなく、すでに活動している児童虐待に関するネットワーク会議であるとか、連携に関するいろいろなものを指している。 <p>細施策では横の連携を図っていく表現に留めて、具体的な事例として「難病ネットワーク会議」の説明をしたものである。</p>
<p>委員 市</p>	<div data-bbox="430 745 1401 864" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>実施計画レベルで新しい目玉を書くということなのか。なぜ、基本計画に明記できないのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事務事業については、他にも実施計画レベルのものは多々ある。総合計画の中でどこまで書き込むのかという問題があると思う。もう一方では、障害者や高齢者などの保健医療福祉に関わる個別計画があり、それらとの整合性をどう図っていくのかという課題もあり、基本計画の中ではそこまで記述していないという状況である。
<p>委員</p>	<div data-bbox="430 1272 1401 1742" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>基本計画と実施計画の分担をどうするのが基本的には難しい問題はあるが、先程の説明から受けた印象では平成18年度からはじまる総合計画において重点課題・重点施策というように位置付けることができると思う。そうすると基本計画に載せても支障はない。むしろ基本計画を市民が見ればこのような分野について重点的にやるんだと分かるようにしていたほうがよい。実施計画を見なければ分からないというのは計画の作り方としてはどうかと思う。</p> </div>
<p>委員 市</p>	<div data-bbox="430 1798 1401 1865" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域福祉計画についても新しい目玉なのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画は個別法（である社会福祉法）に基づいて策定しているが、第二次川越市総合計画との相違点として説明した。内容は、地域における福祉サービスの適正な利用の促進、相談支援体制やサービスの仕組みづくりが主となっている。

<p>委員 市</p>	<div data-bbox="429 212 1402 331" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域福祉計画は新しい計画なのか。又は従来からあった計画なのか。</p> </div> <p>・(社会福祉事業法の一部改正により)社会福祉法が制定されたときに位置付けられた新しい計画であり、現在策定中である。</p>
<p>委員 市</p>	<div data-bbox="429 510 1402 1265" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(原案66ページの)第1章第1節施策5では、施策名が「社会保障の充実」と謳っているが、細施策では「充実」という言葉が見当たらない。他の施策では「推進」、「促進」、「支援」などの言葉があるが、「社会保障の充実」では「健全な運営」や「適正な運用」などという表現になっている。</p> <p>「社会保障の充実」といいながら対象者をギシギシと締め付ける印象を受ける。一頃言われたように生活者の実態を考慮しない「生活保護の支給に関する厳格な運用」をする施策にも見える。</p> <p>少なくとも「社会保障の充実」という言葉を使うのであれば、法律上の制約はあっても市民サービスの向上のために市としてこうしていきたいというところを示す必要がある。</p> </div> <p>・「社会保障の充実」に記載している細施策は、すべて国の制度に基づくものであり、市のレベルで独自に対処できる部分が少ない状況にあるので、他とは異なった記述となっている。</p> <p>例えば老人保健も国の制度であって根本は老人保健法であり、市のレベルで独自に対処するものではない。</p> <p>ただ、現在の社会保障制度が続くとすれば、この制度をなるべく円滑に施行できるよう市としてできるレベルの努力をする意味でこのような書き方となっている。</p>
<p>委員 市</p>	<div data-bbox="429 1798 1402 1861" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学童保育の関係はどこに記述されているのか。</p> </div> <p>・原案58ページの「児童福祉の推進」の中の「子どもへの支援体制の充実」において、「放課後・休日等の子どもの居場所づくりを推進する」という記述で触れている。</p>

委員	<p>「社会保障の充実」においては、市としてできる努力をしたいということであれば、それに見合った表現を考えてもよいのではないか。</p>
委員	<p>記述されている内容からすると、「社会保障の適正な運用」という表題が合っているのではないか。「社会保障の充実」というと、より充実された社会保障を受けられるという誤解が生じかねない。</p>
委員 市	<p>国民健康保険税の収納率が悪化すると社会保障の弱体化につながると考えられるが、川越市の国民健康税の収納率はどのような状況にあるのか。また収納率の向上に向けてどうしていくのか。</p> <p>・現年度分（当該年度に課税した分）の収納率では、平成15年度は87.68%で平成14年度と比較して0.18ポイント上昇している。県内市の収納率の平均は87.86%であり、川越市は県内平均を下回っている。</p> <p>第三次川越市総合計画においても「国民健康保険税の適正化に努め収納の確保を図る」と記述しているが、今後も夜間収納や収納員の活用により収納率の向上に努めていきたい。</p>
委員	<p>国民皆保険をどう堅持していくかが国民的な課題である。</p> <p>国においては、GDP（国内総生産）のようなマクロの経済指標を用いて医療費の伸びを押さえる議論がされているが、医療は経済に直結しているものではない。不景気だから医療を受けられないというのであれば、何の意味もない社会保障になってしまう。</p> <p>GDP（国内総生産）に占める日本の医療費は、先進国の中でも低い方であり、その中で高度な医療を展開している。高度医療も国民皆保険であるから平等に受けられる面もあるので、これまで日本を支えてきた医療の良いところ</p>

委員	<p>を削るような医療経済主導型の改革には反対である。</p> <p>しかし医療費は効率的に使うことが重要であるので、医療費の無駄を省くことはできると思う。</p> <p>例えば、一つの医療機関が撮影したCTが別の医療機関でまた撮影されることがないようにすればよいのではないか。また、血液検査も医療機関ごとに一日に何度も採血しなければならないという無駄を省けばかなりの医療費の節約になると思う。そのような基本的な議論が欠けていて方向性の違う議論がなされている印象を受ける。</p> <p>医療費の無駄を省くことは、基本計画に記述されている病診連携を充実していければ果たせると思う。</p> <p>川越地区には埼玉医科大学総合医療センターがあるので病気に関しては安心だといわれているが、埼玉医科大学は私立大学であり、病院として経営が成り立たなければならないという事情もある。このような状況において川越市の公共医療をどう確保し、大学を頂点とする縦の連携に対して地元の医療機関がどう関わっていくのか、または市立病院を造っていく必要があるのかということが大きな課題となっている。</p> <p>現在の医師の偏在の中で市立病院を立ち上げることは、経済的な負担もあり、マンパワーの確保も課題となる。</p> <p>そうであれば、今ある医療機関の診療機能の特徴を生かして横の連携をつくり、埼玉医科大学総合医療センターは3次医療を行う医療機関としての方向性を求めていくのが川越市の構築すべき医療体制であると思う。</p>
	<p>効率的な医療を推進するうえで、行政として関われるものはあるのか。</p>

委員

埼玉県の事業としてかつて「がん登録」があった。

個人情報保護の面での検討は必要になるが、がん患者に対する治療内容がすべてデータベース化できるような仕組みが考えられるのではないか。難病についても同様なことがいえると思う。

今の体制では患者が一つの医療機関から別の医療機関に移るたびに初歩からの検査がまた行われている。検査内容は患者登録という形でデータベース化されれば（初歩からの検査を）省くことができる。そのような部分での行政の介入はあると思う。

さらに具体的に言えば診療券に電子情報として検査データを入れることもあると思う。国民総背番号化につながるおそれもあると思うが、情報をすべての医療機関で共有できればダブった検査を省く一つの有効な方法だと思う。

そのような意思統一が市内の医療機関や大学との間でできれば、かなりの医療費の節約につながると思う。もう一つは撮影技術などが均一化されていくなどの精度管理も必要である。

委員

実際にデータベース化などに取り組んでいる自治体はあるのか。

委員

病診連携の中にITを組み入れた例としては、岐阜市や湘南市がある。

委員

過去に鳥根県出雲市では、医療検査の結果をカードに入れて、そのカードは同時に銀行のキャッシュカードの役割を持っているというものを作成し、希望する市民に配布したという事例があった。しかし、市民も医療機関もあまりカードを利用しなかったこともあり、うまくいかなかったようである。

委員

SARS や鳥インフルエンザなどの感染症に対する危機管理は埼玉県自体も十分ではない。少なくとも感染症などの危機管理が求められるときに利用できる一次医療を行う機関は市として最低持つべきだと思う。

以前 SARS が話題となったときに、市内のどの医療機関で対応するのかが問題となった。シュミレーションで搬送などの訓練は行われたが、市としては最低そのような医療機関を確保していかなければならないと思う。

基本計画の中にも「公的医療機関のあり方を検討し、整備を図ります」と触れられているが、川越市の公的医療機関は休日急患診療所と国民健康保険川越市立診療所の 2 つしかない。

条例の関係から、劣悪な環境である休日夜間小児診療所が国民健康保険川越市立診療所の施設を使うことが出来ない状況にある。そこで川越市国民健康保険運営協議会では、少なくとも川越市立診療所の「国民健康保険」の冠を外し、川越市立診療所として今後公共的医療を行う基地とする議論まできている。

委員

子どもの成長や介護においても予防という視点が重視されているように感じるが、食に関する取組み（食育、食指導）は年齢を超えて共通しているものであり、人間の健康における問題をいろいろと含んでいる。基本計画では食の安全安心に触れられているが、もう少し食育という視点を入れてもらいたい。

また、団塊の世代が高齢者になる中で、対策として生きがいづくりが謳われているが（原案 60 ページでは「交流の拠点整備」や「就労機会の拡大」など）、特に 70 歳までは地域で活躍できる場をつくっていくことに力を入れてほしい。

市

・学校における食育の指導としては、原案の 83 ページで「学校給食の充実」において食に関する指導を明記している。

委員	<p>・子どもに対する食育指導としては、マタニティ、離乳食、おやつ等の指導をしており、原案５８ページの「子どもの健康づくりを推進するため、各種健診、保健対策・・・の充実に努めます」という記述の中に含まれる。</p> <div data-bbox="432 450 1402 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>子どもに対する各種の健診の中でも体脂肪率などから成人病の可能性を示しており、必要に応じて個別指導をしているので「各種健診、保健対策」という記述に含まれると思う。</p> <p>今般の介護保険法の改正でも介護予防として食事の視点が入ってくるので、高齢者の健康維持や介護予防についての食事(の改善)が有効であるようになってきていると思う。</p> <p>そのような点からすると、基本計画の中に学校教育で食育を行う視点が入り入れられているのは良いと思う。</p> </div>
委員	<div data-bbox="432 1039 1402 1272" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>原案６８ページの施策１「健康づくりの推進」の「健康の増進」という部分に「健康増進法に基づく運動・栄養・歯科事業の充実・・・」という記述があるので、この記述で食に関する視点が入っているのではないか。</p> </div>
委員	<div data-bbox="432 1335 1402 1570" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>原案７１ページの施策１「保健衛生・医療体制の充実」の「食の安全安心の確保」という部分に「食品の製造所や販売店への監視指導と検査体制・・・」という記述があるので、この記述で食に関する視点が入っているのではないか。</p> </div>
委員	<div data-bbox="432 1630 1402 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>食に関する視点は重要であるので、委員が修正原案を作ったらどうか。</p> </div>
委員	<div data-bbox="432 1809 1402 2045" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>原案５８ページ(の「児童福祉の推進」)では、子どもへの育児支援や子どもを生んだ女性への支援が記述されているが、これから結婚する方や子どもを作ろうか迷っている方に対する川越市の施策はあるのか。</p> </div>

市	<p>・原案 58 ページの「児童福祉の推進」では、子どもや子どもを持つ親への支援に対する施策は記述しているが、独身の方や子どもがいない方への支援は記述していない。平成 17 年 3 月策定の「子育てプラン」の検討段階では、独身の方や子どもがいない方への支援も課題として検討したものの、中々難しい部分もあった。</p> <p>なお、「子育てプラン」では育児をしやすい環境づくりを推進するための連絡協議会の設置を盛り込んでいる。</p>
委員	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>合計特殊出生率は、なぜ国や埼玉県と比較して川越市の合計特殊出生率が低くなっているのか。</p> </div>
市	<p>・全国における合計特殊出生率の傾向としては、埼玉県、東京都、大阪府などの大都市圏よりも沖縄や東北地方が高くなっている。また、埼玉県内でも東京に近い川越よりは、秩父や熊谷の方が合計特殊出生率は高い傾向にある。</p> <p>この傾向は東京に近く働きやすい環境が影響しているようにも思う。(合計特殊出生率の低下は)晩婚化や未婚化が原因とされているが、これらを引き出す要因の一つとして首都圏からの通勤しやすい都市であることもいえると思う。</p>
委員	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>合計特殊出生率の低下には、年功序列型の社会が崩壊して男女間の給与格差も少なくなり、女性が自立しやすい時代になったことを背景として女性が結婚したがること(未婚化)に原因があると思う。</p> <p>子どもが一人生まれたら報奨金を出すような施策を川越市がとったら、人口も徐々に増えていくのではないか。</p> </div>
委員	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>柔道の谷亮子選手や女優の水野真紀さんが妊娠・出産するなどのニュースが報じられているが、このようなニュースを生かして子どもを産み育てるPRをしたらどうか。</p> </div> <p>第 1 章に関する審議を終え、説明者を交代する。</p>

	<p>(2)第三次川越市総合計画原案（基本計画）について</p> <p>「第2章 教育・文化・スポーツ」の概要について第二次川越市総合計画との相違点等を中心に説明。あわせて、事前に提出された基本計画に対する質問の回答も一部について説明。</p> <p>【所管部：生涯学習部、学校教育部、市長室、市民部】</p>
委員	<p>【主な意見】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>市立大学の構想について、立ち上げまでにどのくらいの税金投入が必要となるのか、立ち上げ後毎月どのくらいのランニングコストを要するのか概算を教えてもらいたい。教育は重要であるということは分かっているが、経費を要するバランスも判断材料になると思う。</p> </div> <p>今回は第2章の説明までとし、審議は次回とする。</p> <p>(2)その他 特になし</p>
副会長	<p>6 副会長あいさつ</p> <p>7 閉会</p> <p>閉会 午後4時10分</p>

第8回川越市総合計画審議会委員名簿

1 市内の公共的団体等の代表者			
	氏名	選出母体等	備考
1	石黒 高子（注）	国際ソロプチミスト埼玉	出席
2	犬 竹 庸 二	（社）川越市医師会	出席
3	江 島 喜 一	川越市自治会連合会	出席
4	大 熊 敬	川越市身体障害者福祉会連合会	出席
5	太 田 英一郎	（社）川越青年会議所	欠席
6	小 澤 稔 夫	いるま野農業協同組合	欠席
7	可 児 一 男	特定非営利活動法人川越蔵の会	出席
8	川 目 宰一郎	川越商工会議所	出席
9	小 瀬 博 之	かわごえ環境ネット	欠席
10	小 林 充	川越市老人クラブ連合会	出席
11	渋 谷 多賀子	川越市交通安全母の会	出席
12	鈴 木 守 人	連合埼玉川越地域協議会	欠席
13	立 原 雅 夫	川越市姉妹都市交流委員会	副会長 出席
14	堀 満	川越市PTA連合会	出席
15	山 岡 俊 彦	川越地方労働組合連絡協議会	出席

2 学識経験者			
16	片野 広隆（注）	市議会議員	出席
17	倉 嶋 美恵子	市議会議員	出席
18	佐 藤 恵 士	市議会議員	出席
19	菊 地 実	市議会議員	出席
20	松 岡 秀 仁	市議会議員	欠席
21	栗 原 賢 一	市議会議員	出席
22	上 田 成 子	学識経験者（大学教授・女子栄養大学栄養学部）	欠席
23	大 橋 豊 彦	学識経験者（大学教授・尚美学園大学総合政策学部）	会長 出席
24	加 古 勉	学識経験者（大学院教授・東邦音楽大学大学院）	出席
25	渋 井 慶之進	学識経験者	出席
26	馬 場 弘	学識経験者	欠席
27	藤 井 みどり	学識経験者	欠席
28	松 本 弥 生	学識経験者（弁護士）	欠席
29	矢 澤 則 彦	学識経験者（大学助教授・東京国際大学言語コミュニケーション学部）	出席
30	吉本 國春（注）	学識経験者（大学教授・東洋大学工学部）	出席

（注）はホームページ上、一部表記できない委員名です。関連情報「ホームページと異なる委員名」をご覧ください。

第8回川越市総合計画審議会川越市職員名簿

職名	氏名	備考
市長室長	戸口元夫	
財政部長	高梨耕治	
市民部長	青木利彦	
保健福祉部長	酒井正代	
生涯学習部長	上野俊夫	
学校教育部長	粟田博	
市立大担当理事	圓山壽和	
政策企画課長	西川利雄	
行政管理課長	栗原薫	
国際交流課長	盛田茂治	
市民活動支援課長	服部長生	
国保年金課長	大室新一	
美術館長	椎橋次郎	
保健福祉政策担当理事	宮崎進士	
保健福祉推進課長	佐藤明	
生活福祉課長	小室義孝	
障害者福祉課長	吉野誠一	
高齢者いきがい課長	宮本克美	
在宅介護支援センター所長	川野幸紀	
介護保険課長	荻原秀介	
こども家庭課長	木島宣之	
福祉医療課長	岡田薫	
保健所長	田中倬	
保健所次長	大久保幸夫	
保健総務課長	鈴木信一	
保健予防課長	瀬田節子	
食品・環境衛生課長	大澤喜一郎	
衛生検査課長	柴田穰	
総合保健センター長	岨康二	
教育総務課長	森政一	
教育財務課長	永倉壮次	
生涯学習課長	有山達	
市民スポーツ課長	植松久生	
文化財保護課長	清水昇	
中央公民館長	鈴木健	
中央図書館長	今村道雄	
博物館長	田中哲郎	
学校管理課課長補佐	西島清	
学校管理課主幹	飯田敦	
教育指導課長	伊藤明	
今成学校給食センター所長	田中真多	
教育研究所長	小谷野健史	